

春を探しに出かけよう



## 封人の家

[ 国指定重要文化財：旧有路家住宅 ]

公開期間 4月1日～11月30日 8:30～17:00

観覧料金 一般(高校生以上) 250円

小中学生 120円

封人の家とは、国境を守る役人の家のこと。仙台領と境を接する新庄領堺田村の庄屋家であった。

元禄二年(1689年)俳人芭蕉は、「大山を登って日すでに暮れければ、封人の家を見かけて宿りを求む。三日風雨荒れてよしなき山中に逗留(とうりゅう)す」とここに滞在したことを「奥の細道」に綴っている。

## 堺田分水嶺祭

## 春まつり

土

平成24年5月5日

9:00～16:00 (予定)

すずの里広場ほか

物産市

分水嶺コンサート

14:00～ (予定)

## 手づくり産直 すずの里



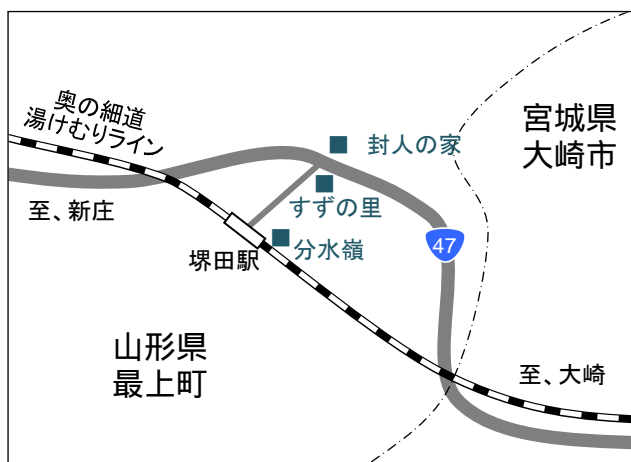
開設期間

5月～11月の土、日、祝日



すずの里事務局長 遊佐幸一さん  
(TEL: 0233-45-2617 (遊佐宅))

県境のため、いろいろなところから人が来てくれます。山形県の玄関口として気持ちよくお迎えます。



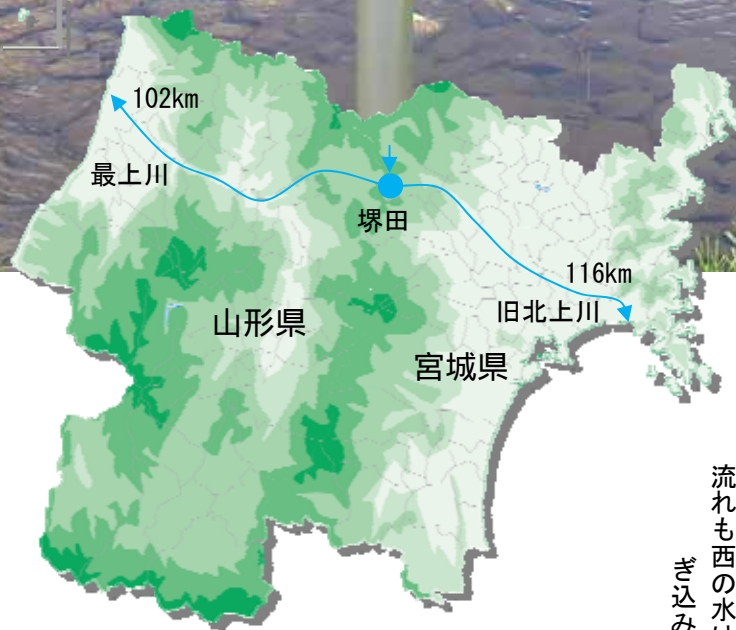
最上町堺田地区に関するお問合せ先 最上町総務課まちづくり推進室 Tel. 0233-43-2111

最上町

さかいだ

堺田

# ぶんすいれい 分水嶺を訪ねる



日本海か太平洋か？ここで決まる水の運命

空から降る雨水が山の尾根などで異なる方向に流れていく境界のことを分水嶺（ぶんすいれい）と言う。

水にとっては重大な岐路なのだが、身近なところで、それも平らな所で見られるのが最上町堺田（さかいだ）にある。

北から流れてきた水が、突き当たりで西と東に分かれている。

水の分かれる様が見える分水嶺は全国的にも珍しい。同じ

流れも西の水はやがて日本海に、東の水は太平洋に注

ぎ込み、大海原でいつの日か出会うのである。

この分水嶺のほか、堺田には俳人松尾芭蕉が二泊したという「封人の家」、地元でとれた農産物や手づくりの民芸品を売っている「すずの里」があり、数多くの人が訪れる観光スポットになっている。

